



株式会社 芦別RICE (北海道芦別市)

・玄米
ななつぼし
ゆめぴりか



芦別の米が海外で絶賛！芦別産ブランドを海外へ

取り組み内容

- **芦別市中心に生産する「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の玄米を輸出。**輸出事業者と連携し、現地のニーズや状況を生産者へ提供。行政団体とも情報共有し、産地を育成。GFPにも参画。
- 国の登録検査機関（もみ、玄米）となり、**輸出玄米は農家生産者毎に検査。**農家毎に検査することで、「美味しいお米作り」に対する生産者の意識向上につながり、「北海道芦別産」をブランドとして届けている。
- **戦略的輸出基地指定を受け、地域の農家へ参加を呼びかけ、輸出に取り組む農家を増やし、ロットを確保。**（設立時3人→2024年24人へ）。参加希望の農家には、生産調整による輸出取組みへの支援、効率化策等の技術支援を行い、輸出参加のハードルを下げている。



▲芦別RICE出資農家の水田

▼ドローンによる農薬散布



▲収穫された輸出用米（9月末頃）

生産者毎
に検査
生産者の
名入りの袋で
海外へ届く▼



▲現地飲食店
から生産者に
絶賛の声をい
ただいた。



株式会社カクニ茶藤

(静岡県静岡市)

・粉末茶
・緑茶



生産者とともに、有機栽培茶を世界へ

取り組み内容

- 2011年の東日本大震災・放射能被害による深刻な経営危機から、輸出事業への参入を決意し、戦略的に輸出を進めた。現在は**全売上の半数以上が輸出での売上が占め、さらにここ4年で売上は倍増**。また、**輸出アイテムの9割以上が有機栽培茶**である。
- 顧客ニーズに応えるため、従来の分業型ではなく新たなサプライチェーンの構築に注力。**有機茶生産から加工、販売まで一貫した直接生産販売体制を構築**し、安定供給を可能にした。有機JAS認証、FSSC22000など数々の認証を取得。全国の茶農家や生産地と取引し、慣行栽培から有機への転換も身を切って支援。今年からは**自らも生産者（認定農業者）**となり、**地域農業基盤の維持にも貢献**する。



▲ FSSC22000/2014



▲ HALAL/2014



▲ Organic (2023/24)

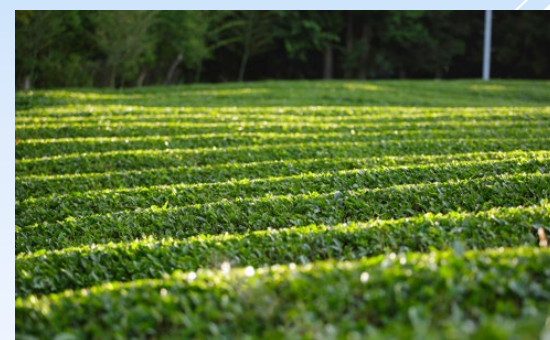


▲ Kosher/2019



▲ 24年に初参加したドバイ展示会

展示会出展を契機
にサウジアラビアでの
取引が始まる ▼



静岡県が実施する ▲
有機茶バリューチェーン化事業にも参画

2024 輸出に取り組む優良事業者表彰 / 主催: 公益財団法人 食品等流通合理化促進機構



スターゼン 株式会社 (東京都港区)

・牛肉
・豚肉
・加工品

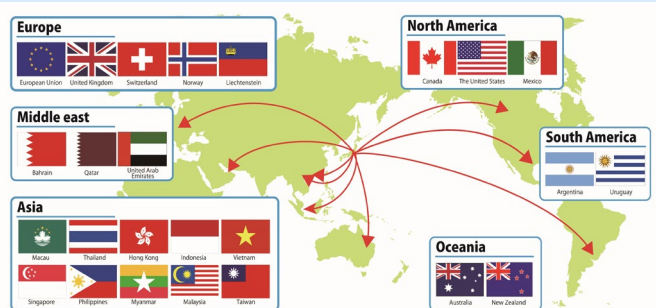


最高の技術と輸出専用ブランドで海外に展開

取り組み内容

- 『**食の感動体験を創造することで世界中の人々と食をつなぎ続ける**』を経営理念とし輸出事業に注力。
- 食肉輸入で構築した海外拠点やネットワークを強みに海外輸出を展開し、現在**51の国と地域へ輸出可能**な体制を構築。
- 輸出の要である阿久根工場は最高技術を有する「**部分肉製造マイスター**」が**多数在籍**し、顧客ニーズに対応。
- 同施設内では新たに「**スキンパック加工**」設備を導入し、流通チャネルを拡大。
- 賞味期限を延長**し、フードロスを削減に寄与。
- 海外輸出専用ブランド「AKUNE GOLD」**を立ち上げ、欧州のステーキ品評会で最優秀賞受賞するなど、ブランド認知度が向上。

輸出先相手国リスト▼



▲輸出EXPOでの出展風景



▲カッティングイベントの様子

World Steak Challenge 欧州品評会 最優秀賞受賞▼



2024 輸出に取り組む優良事業者表彰 / 主催: 公益財団法人 食品等流通合理化促進機構



和牛マスター 輸出拡大コンソーシアム (兵庫県姫路市)

国産和牛
・リブローズ
・サーロイン
・ヘレ など



全国のブランド和牛を姫路発でプロモーション

取り組み内容

- 2021年の設立以来、ANA国際線機内食への提供や、アメリカ・オランダでの政府関係者、現地バイヤー、飲食店などを集客したイベントを開催した。
- **2023年からはワールドオークションと称し、世界各国の牛肉取扱事業者を姫路に参集し、せり販売やカット実演デモを行い、国産和牛の海外での認知度向上を図った。**
- アメリカやEU、東南アジア等主要13か国に輸出しており、**2017年から毎年前年比約120～200%伸びている。**
- 輸出先国に応じた各種規制に準じた生産体制を整え、施設登録や必要書類などの事務手続きも対応している。

ANA国際線機内食に神戸ビーフを使用
▼併せPRサイト開設



▲ EU向けカッティングプロモーション

神戸ビーフの盾を掲げる参加者 ▶



ワールドオークション
◀で最高値をつけた
海外からの参加者



2024

輸出・国際
局長賞

石丸製麺株式会社 (香川県高松市)

・うどん
(讃岐うどん)



「さめきの夢」国産原料の讃岐うどんを世界へ展開

取り組み内容

- 昭和59年には、我が国初の手打ち式乾麺の商品化を成功。**国内産小麦粉（特にさめきの夢）の使用比率を高め、「メイド・イン・ジャパン」の高付加価値商品**であることをアピール。
- 2002年より**日系スーパーを中心に台湾・香港・中国など海外販売を開始**。その後、台湾・中国・韓国コストコ向けに直接販売を展開するとともに、キャセイパシフィック航空のビジネス機内食として「茶うどん」が採用されるなど海外の販路開拓を精力的に推進。
- **インド向け専用商品の開発や長期保管可能な半生麺の開発**にも取り組む。
- 令和6年3月に海外営業部を新設。海外販路開拓に向けた体制を強化。



コストコでは、
梱包材のまま陳列▼



インド市場では、乾麺を使用▶
した現地風にアレンジした料理
の写真（Yaki Udon）を▼
パッケージに使用▼



▲ 石丸製麺本社とさめきの夢圃場（圃場は第三者所有） ▲ 海外向け出荷準備

2024 輸出に取り組む優良事業者表彰 / 主催: 公益財団法人 食品等流通合理化促進機構



越後製菓株式会社 (新潟県小千谷市)

- ・米菓
- ・包装餅
- ・米飯



ふんわり食感にこだわった新商品が海外でヒット！

取り組み内容

- 食感にこだわったお菓子を開発し続け10年以上。新しい食感の「ふんわり名人（きなこ餅、チーズ餅）」を生み出した。他にない食感は海外の人たちの関心を高め、口コミで引き合いの相談が増加している。
- ふんわり名人は新潟県産もち米90%以上を使用、県産米にこだわった同社の主力商品。
- 厳しい欧米の規格に合わせた生産を行えるよう国内製品の原材料を徐々に変更。
- ふんわり名人の賞味期限は180日で船便での輸送期間も発生するため賞味期限伸長が必要。このため、賞味期限を300日に伸長できるパッケージを採用。



セントラルマーケット（テキサス）で
▼販売される「MOCHI PUFFS」



▲アジア圏や
◀米国日系
スーパーで
並ぶ
「ふんわり名人」



▲ドジャースタジアムで
販売している「ふんわり名人」

▼片貝工場（JFS-B規格取得）





大吉商店株式会社 (滋賀県高島市)

・和牛
(近江牛)



未開拓市場へ進出し、地域ブランドを世界に発信

取り組み内容

- 創業120年以上の精肉販売・牧場経営業者であり、**アジアを中心とした8カ国の市場を開拓し、輸出実績を持つ。**
- **子牛の肥育から加工、販売、加工品の開発までをグループ内で一元管理できる6次産業化に取り組んでいる。**
- 現地卸売業者との直接取引や現地訪問により現地の情報や食文化を把握。
- 現地大学で講演を行い、和牛に馴染みのない国においても認知度向上に努めている。
- **JGAP認証やS-HACCAP認証などを取得し、取引先や消費者から高い信頼を得ている。**
- 近隣農家から**稲わらを仕入れて牛を肥育し、農家にたい肥を還元するサステナブルな取り組み**も行っている。



大吉商店の▶
近江牛を使用
するレストラン
(シンガポール)

▲ 自社農場では
近隣農家から▶
仕入れた稲わら
を牧草に使用



▲ 120年の歴史「大吉商店」肥育（大吉牧場）⇨加工（大吉商店）⇨販売（輸出）

2024 輸出に取り組む優良事業者表彰 / 主催：公益財団法人 食品等流通合理化促進機構



チョーヤ梅酒 株式会社 (大阪府羽曳野市)

・リキュール
・清酒



産農一体となって「梅酒」の魅力を世界に届ける

取り組み内容

- 今から60年近く前、酒類としては他社に先駆けてアメリカへの輸出を開始。**日本の文化である梅酒をブランディングし、生産・製造ストーリーとともに世界にその価値を伝え続け**、圧倒的なシェアを得ている。**現在は90以上の国に輸出し、全売上の35%を輸出売上が占める。**
- **国ごとの嗜好や規制に合わせ、戦略的に商品開発。**アメリカでは梅酒に梅ワインをブレンドし販売。ドイツのOEM工場に梅果汁を輸出し、現地で発酵させて梅ワインを製造。韓国向けノンアル商品の販売などニーズに合った独自の海外展開を図る。
- **和歌山県産南高梅を中心に国産梅を100%使用しており、JAを介して約5,000軒の農家から梅を仕入れ。**



和歌山産南高梅を中心に国産梅を100%使用
▼ JAを介して約5,000軒の農家から梅を仕入れ



◀ 台湾のコンビニとコラボ3日間で6万個完売した



▲ CHOYA ドイツ (1989年)

▼ 輸出用製品
(現在)



▲ 輸出用ラベル
(1968年)



株式会社 ネイバーフッド (宮崎県宮崎市)

・温州みかん



「みかん」の産地リレーで、みかん産業を活性化

取り組み内容

- 創業77年、3代続くみかん農家が法人を設立し、2019年に輸出を開始。
- 輸送状況の管理、輸出ノウハウ蓄積のため、**商社を介さず直接貿易**を行っている。
- 2022年に輸出重量を抑えて**品質管理の強化に取り組み、10～13%発生していた廃棄ロスを1%まで改善**。輸出重量を抑えたまま輸出金額は2021年と同水準まで回復。
- 他県のみかん農家と連携し、**旬を迎える地域のみかんをリレー形式で出荷する体制を構築**。輸出可能期間を延長し、各時期にもっともおいしいみかんの輸出を可能にしている。
- **生産から貯蔵、輸送など、蓄積した輸出用のノウハウを他の生産者へ共有**。



▲ 宮崎県日南市に新設したみかん選果場



現地で
みかんの
状態を
確認

光殺菌を
行っている
様子 ▶



▲ 生産農家を対象に
勉強会を開き、輸出
ノウハウを共有

国内で機能性表示食品
として販売を開始。
海外バイヤーの目に留まった
「まる搾りみかんジュース」





丸啓鯉節株式会社 (静岡県御前崎市)

- ・鯉節
- ・削り節
- ・抹茶



ハラル認証を取得し、イスラム圏へ進出

取り組み内容

- 創業約35年の鯉節を2010年より輸出している。
- **自社鯉節製品と他社の抹茶製品等を混載することで輸送コストを低減**している。
- 混載することで日本食材のラインナップ拡充につながり、輸出先での販売促進に寄与。
- **海外の取引で必要とされるハラル認証、EU-HACCPなど**を取得した。
- 削り方や梱包の高い技術を活用し、**風味や外観の良い高品質な製品を提供することで、安価な他国製品と差別化を図った。**
- 商社を介さずに**直接輸出することで輸出先のアフターフォローやニーズ収集を可能**にしている。



▲ 輸出用削り節

▼ 鯉加工（初切り）タイ



タイ国内を
走るマルケイ
グループ会社
のトラック



原材料の安定供給を目指し
2012年にフィリピン、
2014年にタイに工場を建
設（写真：タイ工場）▶



混載により輸送コスト削減▶

▼ 静岡県御前崎の本社第2工場

